

令和 3 年度第 1 回 西宮市環境計画推進パートナーシップ会議 地球温暖化対策部会

議事録

- 開催日時：令和 3 年 7 月 29 日
- 開催場所：西宮市役所 本庁舎 5 階 A541 会議室
- 出席委員：清水委員・津高委員・西明委員・北詰委員・曾我委員・狭間委員
- オブザーバー：加美田氏（株大阪ガス）
- 事務局：環境局長ほか 5 名

1. 部会長・副部会長の選任について

- ▶部会長／清水委員
- ▶副部会長／北詰委員

2. 「第二次西宮市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の見直しについて （目標に関して）

- ▶2023 年には様々な社会情勢を反映させる計画の改定が予定されている。まずは現行計画の目標値を確定しなければならないが、今回提示の「市域における二酸化炭素排出量 33.8%削減（2013 年度比）」についてはどうか。
 - ▷現在報道等に出ているような数値と比較すると控え目にみえるかもしれないが、これまで、市民が身近に取り組むことのできる地に足を付けた目標数値にしようという議論を積み上げてきた。その点からすれば、33.8%は地に足を付けた目標として妥当なものだと思う。まずは、33.8%を達成しなければ 50%や 60%という目標を掲げたところで到底達成は不可能である。とはいえ、2050 年に向けて達成しなければならない目標の検討も必要になるので、今後、国の方針等が出された段階で足並みを揃えて行けば良い。
- ▶令和 5 年に計画の中間改定がある。その時点では、国の方針等を踏まえて目標数値の上方修正もあり得るのか。
 - ▷あり得る。（事務局）
 - ▷それならば、それに向けた前段階として問題ないように思う。ただ、令和 5 年の中間改定時には国の方針も踏まえた大幅な上方修正が必須だと考える。
- ▶2028 年までの期間にマイルストーン（達成状況）を設定できないか。
 - ▷計画に示す際には分かりやすいように工夫する。（事務局）
- ▶市民目標としての 33.8%という数値に異論はない。ただ、国際的に大きな動向があり、2050 年に向けてはこれだけでは足りないんだよというメッセージは必要ではないか。
 - ▷市民にとって分かりやすい目標というのはありがたいが、市民の取り組みだけでゼロカーボンを目指すのではなく、行政・事業者も含めて姿勢を示す必要はある。

▷現段階で報道等の先行する数値をそのまま市計画の目標数値とするには根拠に乏しい。計画中の説明で補いたい。(事務局)

▷確かに、報道で出ているような数値は肌感覚として現実味の無い数値に感じる。ただ、今後は大幅な技術革新や市民・事業者の努力と意識改革が必要なんだということを伝えたい。

▷国連等の大きな議論があることも理解する。しかし、市民に向けては現実的な目標あるいは取組みについて示すことが重要だと思う。西宮には大型の商業施設もあるが、事業者との協働も重要になる。

(指標に関して)

▶指標についてはどうか。

▷指標に関しては、評価時に目標の達成に向けた努力や工夫を無視して数値の達成可否だけで評価してしまうことが無いようにしなければならない。それまでの過程でどういった取組みを行ったかという評価ができるようにすれば問題ない。

▶廃棄物の指標に関してはぜひ取り入れてほしい。廃棄物部会でも議論されているのでは。

▷廃棄物分野と温暖化分野で同じものを別々に評価する必要はないし、廃棄物分野で把握するものを持ってくれば良いと考える。ここに並ぶ指標としては、他がエネルギー関連であるのに対し、若干の違和感はある。

(その他)

▶その他については。

▷2点ある。1点目は2050年のゼロカーボンに向けて日本全体、全ての自治体が同様に削減しなければならないのかということ。西宮市の場合は家庭部門が大きな割合となっているが、かなり抜本的な改革が無いと個々の取組みだけでは到底達成はできない。地域ごとに削減におけるポテンシャルやハードルが想定される中で、一律の削減は効率的な方法とは思えない。どこかの国や地域の先進的な取り組みを書いてしまったりか画期的な取組みを紹介することは出来るのでは。2点目はSDG'sとの関連性について庁内で整合をとっておくべき。

▷西宮市で今後新たな宣言をしてみるというのも必要ではないか。福祉分野でも持続可能な共生社会の実現に向けての展開は不可欠になっている。福祉サイドも含めて持続可能な共生社会に向けての共同宣言など大きな市民運動、高揚感のようなものも必要ではないか。今は、学生もSDG'sに取り組んでいるので、タッグを組むのも良い。

▶市民目線でこれならやってみたくて身近に思ってもらえるような工夫が必要。ロールモデル的な発信ができればよい。

▷ロールモデルの発信は重要。EWCをはじめ子供向けの環境学習に関しては評価できる。大人向けの環境学習についてはもう少し充実させてほしいと思う。大人がやってみよう・おもしろいなと思うような取組みも検討してほしい。

▷会社でもSDG'sについて取り組んでいるが、どう展開していくのが難しい。社内では社員に何に

取り組むかを宣言させて、紙に書いてもらって、それを写真で発信している。市民も巻き込むために SNS 等を活用することも必要。

▷この計画にどのような形で SDG's を盛り込むかについては言及しない。ただ、考え方については必要不可欠になっているので、庁内でも整理して整合がとれるようにしておくべき。

▷役所でも把握していない取組みはたくさんあると思う。それらをうまく拾い上げて発信できるといい。

- ▶西宮市の強みは行政と市民が同じ土俵で議論する場を整備できていること。計画をつくるだけでなく、それを展開していくことが重要で、市民・事業者への共有の仕方を肝にもらいたい。
- ▶市民の行動変容を促すためにも、役所から実際に行動を起こしていくかにかかっている。